

『膠原病コンサルの手引き ―その相談の根拠・原因、説明できますか?』

正誤情報

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。

本書に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

※下線部が該当箇所となります。

■ p.83 9行目

【誤】 C1-C3の神経根症は後頭神経痛

【正】 C2-C3の神経根症は後頭部の疼痛

■ p.84 表II-2-3 キャプション2行目

【誤】 肘の屈曲

【正】 手首の背屈

■ p.87 6行目

【誤】 後頭神経痛が出ることもある。

【正】 後頭部の疼痛が出ることもある。

■ p.87 10行目

【誤】 頸椎と頸髄の高位は L5 椎体

【正】 頸椎と頸髄の高位は 1.5 椎体

■ p.88 図II-2-9 キャプション

【誤】 C5/6の椎間孔は

【正】 C6/7の椎間孔は

■ p.309 12行目

【誤】 BML社の STACIA®を採用していることが多く、

【正】 MBL社の STACIA®を採用していることが多く、

■ p.310 1行目

【原文】 抗体を検出するキットを使用している

【追加】 抗体を検出するキット (Phadia) を使用している

- p.310 表V-2-11
 - 【誤】 BML (STACIA®)
 - 【正】 MBL (STACIA®)

- p.310 表 V-2-11 キャプション
 - 【誤】 広く採用されている BML (STACIA®)
 - 【正】 広く採用されている MBL (STACIA®)

- p.325 8行目
 - 【誤】 たとえば BML のキットでは
 - 【正】 たとえば MBL のキットでは

- p.325 表V-2-19
 - 【誤】 BML (STACIA®)
 - 【正】 MBL (STACIA®)

2024年8月7日時点